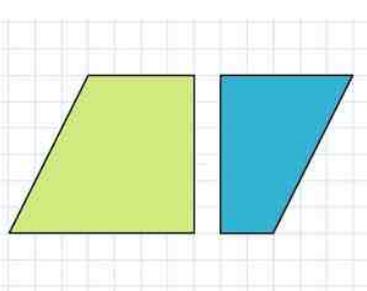


<p>単元（教材）名</p>	<p>平行四辺形と三角形の面積（5年生）</p>	
<p>学習目標</p>	<p>平行四辺形の面積を長方形の等積変形して求める活動を通して、底辺と高さに着目するとよいことを理解し、平行四辺形の求積公式を導き出して、面積を求めることができる。</p>	
<p>メディア活用の意義</p>	<p>《コンテンツの概要》 大日本図書の web サイト上にある、『算数・数学をイメージ化する動画素材集』にあるデジタル教材。インターネットに接続できない環境でも、ダウンロードすることができるので、常時活用することができる。Mpeg 形式の動画で、30秒ほどのデータ。 《使用目的》 「平行四辺形を長方形に変形して、面積を求めることができる。」「平行四辺形の面積の求め方は『底辺×高さ』で求められる」ということがスムーズに展開され、視覚的に捉えることができる。</p>	
<p>学習内容・活動の実際</p>	<p>評価と指導・援助</p>	<p>メディア利用と環境</p>
<p>① 問題を読み、平行四辺形の面積を求めることを理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 平行四辺形の面積は、どうやって求めることができるのだろう。 長方形より面積が大きい。 <p>② 個人追究をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> この部分を切ってこっちに持ってくると長方形になるよ。 長方形なら、面積を求めることができるよ。 <p>③ 全体交流をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 平行四辺形をここで切って、2つの台形にします。2つをくっつけて、長方形にすれば面積を求めることができます。 ここで切って、台形と三角形の2つにしても、長方形ができるから面積を求めることができるよ。 <p>④ まとめをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 平行四辺形の面積の求め方は、「底辺×高さ」で求めることができるんだね。 『高さ』っていうのは、『底辺』に垂直にひいた直線の長さのことなんだね。 	<ul style="list-style-type: none"> 「長方形や正方形なら面積を求めることができる」という既習事項から課題化を図る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>平行四辺形の面積を、長方形か正方形に変形して求めよう。</p> </div>  <ul style="list-style-type: none"> 平行四辺形をどのようにしたらよいか見通しをもつことができない子には、動画を提示し2つに分ければよいことに気付くようにする。 全体交流をして、「2つに分けた図形を1つにし、長方形をつくれればよい」という考えにまとめられた後、動画を提示する。 切り取ってつなぎ合わせた形が本当に長方形かどうか問いかける。 ○ 平行四辺形を長方形に等積変形して、面積を求めることができる。 (数学的な考え方) 	<ul style="list-style-type: none"> 教室環境 普通教室 視聴覚機器 コンピュータ1台 プロジェクター 簡易スクリーン ソフト 大日本図書HP 「算数・算数をイメージ化する動画素材集」 http://www.dainippontosho.co.jp/mext/nhk/index.html 平行四辺形の面積 <p>(ダウンロードして使用することもできるので、インターネット環境が整っていないだけでも使用できる。)</p>
<p>○ 授業の成果と今後の課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> 動画により、子どもたちも興味をもって視聴し、理解を深めることができる。 本時では、終末の段階で位置付けたが、個人追究の場でも活用することができ、個に応じた指導・援助の手立てとなった。 	